

高校から見た大阪の高等教育の魅力と大学間連携に関する調査

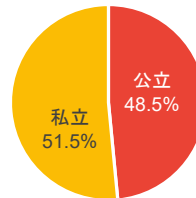
- 【趣 旨】 高校生・保護者の進路選択に関する傾向や大阪の大学への期待、大学間連携に対する期待を把握し、今後の事業や施策の検討に活用することを目的とする。
- 【対 象】 大阪府内の国公立高等学校
- 【実施時期】 2026年月6月29日～8月31日
- 【調査主体】 特定非営利活動法人大学コンソーシアム大阪

回答件数： 33校／対象259校(回答率12.7%)

I 回答者・学校の概要

1. 学校種別

国立	0
公立	16
私立	17

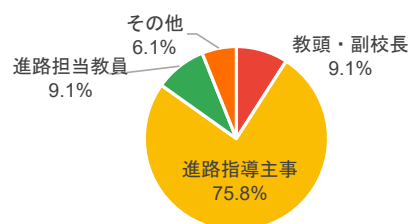


2. 回答者属性

校長	0
教頭・副校長	3
進路指導主事	25
進路担当教員	3
その他	2

<その他>

- ・3年学年主任
- ・教諭

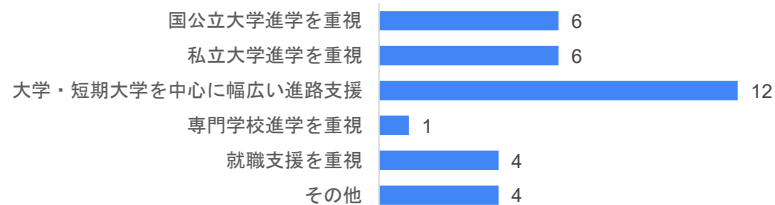


3. 進路指導の方向性

国公立大学進学を重視している	6
私立大学進学を重視している	6
大学・短期大学への進学を中心に幅広い進路支援を行っている	12
専門学校進学を重視している	1
就職支援を重視している	4
その他	4

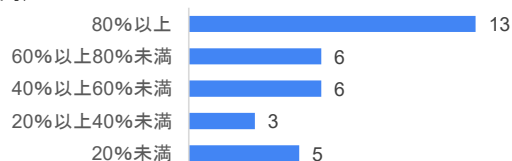
<その他>

- ・国公立大学または併設大学への進学を重視している。
- ・大学中心だが、国私については生徒の希望を最優先する。
- ・大学、短大、専門、就職と幅広く希望している生徒一人一人に応じた対応を重視している。
- ・本人が納得いく進路選択を応援しているので、特に重視している方向性はない。



4. 大学・短期大学進学率(過去3年程度の傾向)

80%以上	13
60%以上80%未満	6
40%以上60%未満	6
20%以上40%未満	3
20%未満	5
わからない	0



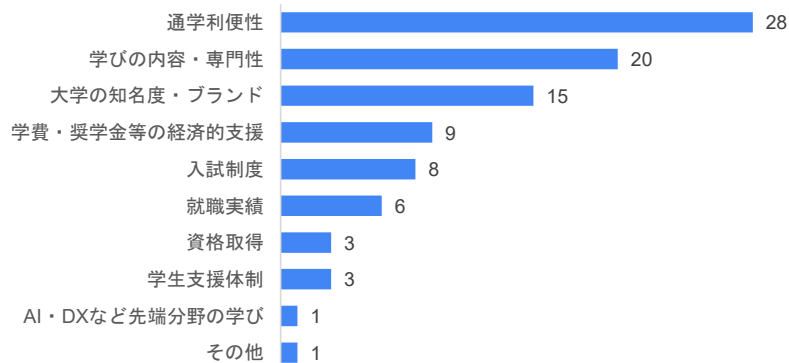
Ⅱ 高校生の進路選択の現状

1. 高校生や保護者が大学進学先を選択する際に重視していると感じるもの(3つまで選択可)

通学利便性	28
学びの内容・専門性	20
大学の知名度・ブランド	15
学費・奨学金等の経済的支援	9
入試制度	8
就職実績	6
資格取得	3
学生支援体制	3
AI・DXなど先端分野の学び	1
国際交流	0
地域や企業との連携による学び	0
その他	1

<その他>

・最新の設備



2. 高校生や保護者が志望大学を検討する際、進路指導上、説明や比較が難しいと感じる事項

(3つまで選択可)

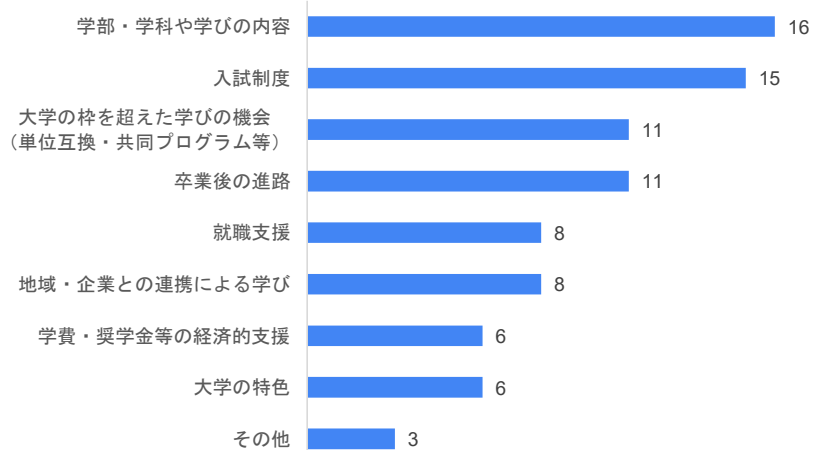
学部・学科や学びの内容	16
入試制度	15
大学の枠を超えた学びの機会(単位互換・共同プログラム等)	11
卒業後の進路	11
就職支援	8
地域・企業との連携による学び	8
学費・奨学金等の経済的支援	6
大学の特色	6
その他	3

<その他>

・学生一人一人に対するサポートの丁寧さ

・他大学の大学院進学しやすいさ

・定員割れをしているかどうか



3.高校として、大学からより充実して提供してほしい情報(3つまで選択可)

学部・学科や学びの内容	19
卒業後の進路・就職状況	16
入試制度	14
学費・奨学金等の経済的支援	10
大学の特色	10
キャリア支援	9
学生支援体制	8
地域・企業との連携による学び	3
大学の枠を超えた学びの機会(単位互換・共同プログラム等)	3
その他	0



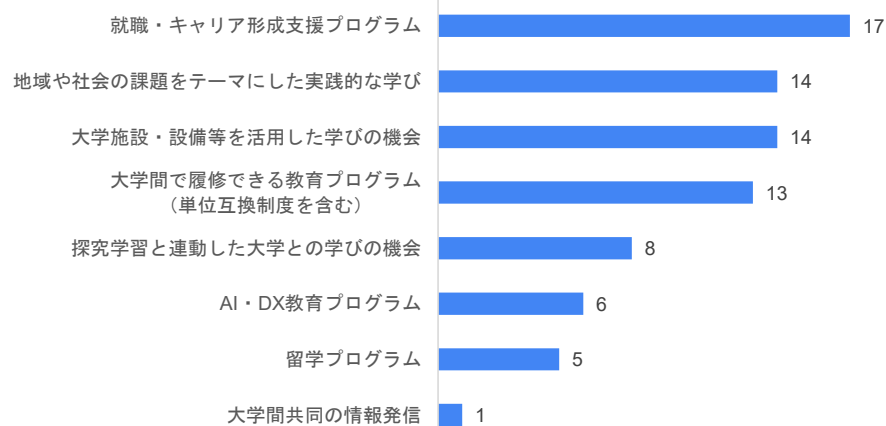
4.大阪の大学が、今後高校生や保護者にとって、さらに魅力あるものとなるために期待すること

- ・学費等諸費用を下げる。
- ・指定校の書類の書式を統一してわかりやすくしてもらいたい。大学卒業時に、社会で通用する力をつけるために、高校以下で学ぶ内容でも必要であれば、どんどん大学の授業で、これらの復習に力を入れてもらいたい。
- ・公開授業や体験授業の積極的な実施、ホームページの見やすさ向上。
- ・その大学だからこそ学べる、他の大学にはないもの(学びだけではなく、ホスピタリティなども含む)を提供していただくと、選びやすく勧めやすくなる。とにかく今は大学の数が飽和状態である。
- ・通信制高校への新入学・転編入学が増加している。通信制高校卒業者への新たな対応が求められる。
- ・入学しても、通うのが難しくなり休学する卒業生の話をよく聞く。学生生活のサポートが充実することを願う。
- ・外国籍の生徒の柔軟な受け入れ体制。
- ・学費無償化ではなく、中身で勝負する。学費を払ってでも行きたいと思える大学になる。
- ・大阪の大学と一口に言っても、それぞれ内容やターゲットとする受験生が異なるので、難しい質問である。地元だけではなく、全国から多様な学生が集まっているのが理想だと思う。
- ・地元企業との連携・特色ある取り組み。
- ・併願合格後に他大学へ進学する場合の入学金返還。
- ・学費を下げたり奨学金制度を拡充しながらも、学びやキャリアのクオリティを保つこと。

Ⅲ 大学間連携に期待すること

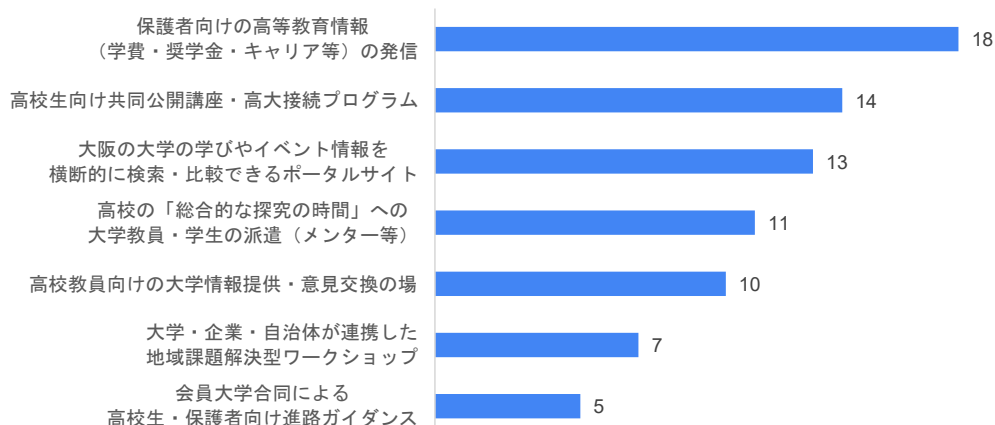
1. 大阪の大学が連携して取り組むことで、高校生や保護者にとって魅力向上につながると思うもの
(3つまで選択可)

就職・キャリア形成支援プログラム	17
地域や社会の課題をテーマにした実践的な学び	14
大学施設・設備等を活用した学びの機会	14
大学間で履修できる教育プログラム(単位互換制度を含む)	13
探究学習と連動した大学との学びの機会	8
AI・DX教育プログラム	6
留学プログラム	5
大学間共同の情報発信	1
その他	0



2. 高校や進路指導担当者の立場から見て、大阪府内の複数の大学が共同で行う取組として期待する支援や機能(3つまで選択可)

保護者向けの高等教育情報(学費・奨学金・キャリア等)の発信	18
高校生向け共同公開講座・高大接続プログラム	14
大阪の大学の学びやイベント情報を横断的に検索・比較できるポータルサイト	13
高校の「総合的な探究の時間」への大学教員・学生の派遣(メンター等)	11
高校教員向けの大学情報提供・意見交換の場	10
大学・企業・自治体が連携した地域課題解決型ワークショップ	7
会員大学合同による高校生・保護者向け進路ガイダンス	5
その他	0



3. 「大阪府内の複数の大学が協力して教育の質向上や学びの機会の充実に取り組んでいることは、高校生や保護者にとって進学先としての魅力向上につながる」と思うか。

非常にそう思う	7
ややそう思う	20
あまりそう思わない	4
そう思わない	0
わからない	2

